

## 指導のねらい

数直線の一目盛りの大きさに着目して、数を読み取ることができるようにする。

## 課題の見られた問題の概要と結果

A ②(1) 数直線上に示された1万より大きい数を読み取る。

正答率64.3%

## 学習指導要領における領域・内容

〔第3学年〕 A 数と計算

(1) 数の表し方についての理解を深め、数を用いる能力を伸ばす。

ア 万の単位について知ること。

## 授業アイデア例

■ に数を入れたとき、□ の数はいくつになるか考えます。

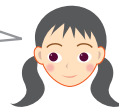


■ の数が変わると □ の数も変わりますね。

(1) ■ に10000を入れました。□ の数はいくつになりますか。



□ は、20000より4目もり分大きい数です。  
10000と20000の間が10等分されているから、1目もりは1000になっています。だから、□ は24000です。



数直線に数を書いていくと、10000, 11000, 12000, ..., 24000になります。



(2) ■ に19900を入れました。□ の数はいくつになりますか。



19900と20000の間が10等分されているから、1目もりは10になっています。だから、□ は20040です。



今度は、下の数直線で考えます。

■ の数を34400にしたいと思います。このとき、ア の数はいくつになりますか。



34000と■の間が4等分されていて、■は34400だから、1目もりは100です。だから、ア は33000になります。



### 《主な学習内容》

● 数直線上に一つの数しか示されていない場合、□ の数が一つに決まらないことに気付く。

● 一目盛りの大きさに着目して説明する。

● 実際に数直線に数を書いたりして、確認する。

● 一目盛りの大きさが変化することに気付く。

● 二つの数の間が4等分されていることに着目して、一目盛りの大きさを考える。

## 留意点

● 数直線の一目盛りの大きさは、いろいろな場合があることを実感できるようにする。